

行政評価シート

評価年度	令和7(2025)年度		事業実施年度	令和6(2024)年度
基本目標	5	自然環境を守り未来へつなぐまち		
取組方針	2	環境にやさしいまちにしよう		
取組分野	1	地球環境の保全		
施策主管部局	経営企画部			
担当課	ゼロカーボン推進室	生活環境課		

1. 目標指標(PLAN)

指標名	R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 最終目標
CO2総排出量	(R1年) 96.3万トン	83.8万トン	81.8万トン	75.2万トン	71.6万トン	68.1万トン	64.6万トン 以下

2. 主な取組の評価(DO・CHECK)

(1) ゼロカーボンシティの推進

昨年度実施結果	課題
みよし市地球温暖化対策実行計画の後期計画として、また、地域気候変動適応計画を包含した計画として、令和7(2025)年3月にみよし市ゼロカーボンシティ推進計画を策定した。	ゼロカーボンシティの推進は、行政のみで実施することは困難であり、今後策定した計画に基づき、官民一体となってゼロカーボンシティの実現に向けた取組を実施する必要がある。

(2) 省電力・省エネルギーの推進

昨年度実施結果	課題
住宅用地球温暖化対策設備の設置者や次世代自動車の購入者に対して補助金を交付した。	設置等の普及が浸透してきている設備等については、補助金の交付を見直す必要がある。

(3) 再生可能エネルギーの普及啓発

昨年度実施結果	課題
・太陽光発電設備の共同購入事業(家庭向け)を実施した。 ・太陽光発電設備の設置者に対して補助金を交付した。	みよし市ゼロカーボンシティ推進計画において設定した再生可能エネルギー導入量目標達成に向け、引き続き太陽光を中心とした再生可能エネルギーの導入促進及び地産地消を図る必要がある。

(4) 環境管理の実施

昨年度実施結果	課題
環境管理要綱に基づき、本市が行う公共施設の運営、公共の用に供するために設置する施設の運用、その他事務、事業等の活動により環境に与える影響を評価した。	実行計画に基づき、市民サービスとのバランスを図りながら、公共施設における今後さらなるCO2削減が求められている。

(5) 環境調査の推進

昨年度実施結果	課題
大気汚染の測定調査により、現状を把握し、大気汚染防止に役立てた。また、河川・ため池の水質、事業所排水等による水質汚濁状況を監視し、把握することで、水環境の保全に努めることができた。	大気汚染や水質汚濁が発生した場合に、規模によっては担当課のみで対応することが難しい。

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

3. 結果と今後の方向性(ACTION)

進捗状況 (S:躍進中、A:予定通り、B:遅れ気味)	今後の方向性
A	2050年までのゼロカーボンシティの実現に向けて、「みよし市ゼロカーボンシティ推進計画」に基づき、「省エネ」、「再エネ」及び「新技術」を取組の3つの柱として、具体的な施策として、「水素の利活用拡大」をはじめとした7つの施策を推進していく。

行政評価シート

評価年度	令和7(2025)年度		事業実施年度	令和6(2024)年度
基本目標	5	自然環境を守り未来へつなぐまち		
取組方針	2	環境にやさしいまちにしよう		
取組分野	2	循環型社会		
施策主管部局	市民経済部			
担当課	生活環境課			

1. 目標指標(PLAN)

指標名	R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 最終目標
再利用資源回収率	(R3年) 18%	15.1%	16.8%	18.5%	20.2%	22%	23.8%

2. 主な取組の評価(DO・CHECK)

(1) 再利用資源回収率の向上

昨年度実施結果	課題
リサイクルステーション3か所で資源ごみを回収した。 プラスチック資源を地区の計画収集で回収した。	リサイクル率が減少しているので、資源の回収品目を増加したり、リサイクルステーションの利便性向上により、市民のリサイクル意識の高揚を図る。

(2) リサイクル活動の支援

昨年度実施結果	課題
市内小中学校PTAの資源ごみ回収のための活動に対し、補助金を交付した。	資源ごみ回収の活動回数が減少している。

(3) 生ごみ減量化の推進、食品ロスの削減

昨年度実施結果	課題
生ごみ処理機購入に対し、補助金を交付した。 食品ロスについて、フードドライブを実施し、啓発をした。	食品ロスについて、より多くの市民に知っていただくために周知を図る必要がある。

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

3. 結果と今後の方向性(ACTION)

進捗状況 (S:躍進中、A:予定通り、B:遅れ気味)	今後の方向性
A	再利用資源回収率の目標達成に向けて、現状把握した上で課題を洗い出し、市民の意識向上につながる施策を実施していく。